

一般社団法人 日本エネルギー学会
第 96 回定時総会

日 時 2021 年 2 月 26 日（金）午後 1 時 30 分より
会 場 学士会館（202 号室）
東京都千代田区神田錦町 3-28
TEL. 03-3292-5936（代）

議 案

- 第 1 号議案 2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの
事業ならびに会員状況報告の件
- 第 2 号議案 2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの
貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録の承認の件
- 第 3 号議案 2021・2022 年度理事・監事選任の承認の件
- 第 4 号議案 2021・2022 年度補欠理事選任の承認の件
- 第 5 号議案 2021 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

第 96 回定時総会ならびに関連行事

次 第

13:30～14:50 第 96 回定時総会

(202 号室)

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議案審議
4. 閉会

15:00～16:50 2020 年度日本エネルギー学会表彰受賞者講話 (オンライン開催)

1. 分子凝集構造緩和を利用した重質炭素資源の革新的利用技術に関する研究
産業技術総合研究所 鷹觜 利公
2. 持続可能な地域エネルギーシステムの統合デザインと分析
東北大学 中田 俊彦
3. チタニアとアルミナから成る新規ハイブリッド担体を用いた水素化脱硫触媒の
商業化
千代田化工建設株式会社
4. 高炉用新塊成物の開発による省エネルギーへの貢献
日本製鉄株式会社
5. 本会の発展に対する功績
前当会会長 元東京ガス株式会社 救仁郷 豊

第1号議案 2020年1月1日から2020年12月31日までの 事業ならびに会員状況報告の件

1. 本会事業報告

1-1 委員会、会合等

○定時総会

第95回定時総会を2020年2月26日(水)13:00から学士会館にて開催し、次の議案について審議の上、原案どおり承認された。

第1号議案 2019年1月1日から2019年12月31日までの事業ならびに会員状況報告の件

第2号議案 2019年1月1日から2019年12月31日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認の件

第3号議案 2020年度理事選任の承認の件

第4号議案 2020年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

なお、例年開催している表彰式/受賞者講話/特別講演/祝賀懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○理事会 定例5回(1/22、3/30、6/25、9/29、11/24)、臨時2回(5/11、7/3)

(1) 2019年度第6回定例理事会 2020年1月22日(水)15:00~17:00

於：電力中央研究所 会議室、出席者 15名(理事 20名)

[審議事項]

会長および専務理事から業務報告

1. 議事録 承認の件

2. 会員入退会 承認の件

3. 2020年度理事選任の承認の件

4. 第95回定時総会議案 承認の件

① 第1号議案 2019年1月1日から2019年12月31日までの事業ならびに会員状況報告の件

② 第2号議案 2019年1月1日から2019年12月31日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認の件

③ 第3号議案 2020年度 理事選任の承認の件

④ 第4号議案 2020年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

5. 規程の新設 承認の件

6. その他(旅行業法の件ほか)

[連絡事項]

7. 2019年度の諸検討課題 進捗報告の件

8. (一社)日本鉄鋼協会との情報交換について

9. 学生のための国際会議発表支援募集 報告の件

10. 各部会、委員会、各種行事 進捗報告の件

11. その他(今後の理事会スケジュール等)

(2) 2020年度第1回定例理事会 2020年3月30日(月)

書面審議、出席者 21名(理事 21名)

[審議事項]

会長および専務理事から業務報告(2月下旬まで)

1. 議事録 承認の件

2. 会員入退会 承認の件

3. 収支報告(2月末)の件

4. 2020年度表彰委員長及び委員 選任の件

5. 2021・2022年度役員候補選出委員会 設置の件

6. 2020・2021年度支部長 選任の件

7. 2020年度専門部会部会長交替 承認の件

8. 天然ガス部会分科会統合 承認の件

9. 規程の改訂 承認の件

10. 事務局長交替 承認の件

[連絡事項]

11. 第 95 回定時総会 報告の件
 12. 2020 年度の諸検討課題の件
 13. 100 周年記念事業の進捗報告
 14. エネルギー検定の問題改訂について
 15. 各部会, 委員会, 各種行事進捗報告の件
 16. その他 (今後の理事会スケジュール等)
- (3) 2020 年度第 1 回臨時理事会 2020 年 5 月 11 日 (月)
書面審議、出席者 21 名 (理事 21 名)

[審議事項]

1. 第 23 回年次大会の開催方法について
- (4) 2020 年度第 2 回定例理事会 2020 年 6 月 25 日 (木) 15:00~16:10
於: 電力中央研究所 会議室、出席者 14 名 (理事 21 名)

[審議事項]

会長および専務理事から業務報告 (6 月下旬まで)

1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告 (5 月末) の件、年度見通し (概略) 説明
4. 2020 年度「論文賞」受賞者承認の件
5. 規程の改訂 承認の件

[連絡事項]

6. 表彰委員会のスケジュールについて
 7. 各部会, 委員会, 各種行事進捗報告の件
 8. その他 (今後の理事会スケジュール等)
- (5) 2020 年度第 2 回臨時理事会 2020 年 7 月 3 日 (月)
書面審議、出席者 21 名 (理事 21 名)

[審議事項]

1. 2020・2021 年度 支部長交替 承認の件
- (6) 2020 年度第 3 回定例理事会 2020 年 9 月 29 日 (木) 13:00~14:30
Web 開催、出席者 14 名 (理事 21 名)

[審議事項]

会長および専務理事から業務報告 (8 月下旬まで)

1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告 (8 月末) の件、(参考) 年度末収支見通し報告
4. 規程の制定 承認の件 (オンライン会議アプリ運用)
5. 規程の改訂 承認の件 (表彰規程、支部規程)

[連絡事項]

6. 理事会・社員総会の Web 開催について
 7. 今年度の学会表彰関係の変更について
 8. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
 9. その他 (今後の理事会スケジュール等)
- (7) 2020 年度第 4 回定例理事会 2020 年 11 月 24 日 (火) 13:30~15:30
Web 開催、出席者 14 名 (理事 21 名)

[審議事項]

会長および専務理事から業務報告 (10 月下旬まで)

1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告 (10 月末)、年度末収支見通し報告の件
4. 「2020 年度学会表彰」学会賞, 進歩賞, 功績賞, 奨励賞 承認の件
5. 2021・2022 年度 役員候補選出 承認の件 (役員候補選出委員会報告)

6. 2020・2021 年度 支部長選任 承認の件
7. 第 96 回定時総会招集 承認の件
〔連絡事項〕
8. 100 周年記念事業の準備状況と今後の進め方
9. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
10. その他（今後の理事会スケジュール等）

○**監事会（監査）** 1 回

- ・2020 年 1 月 17 日（金）15:00～16:00、学会事務局会議室において行われた。
2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までの会計および業務監査
- 1. 2019 年 12 月末における貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録の承認
- 2. 事業ならびに会員状況についての承認
- 3. 銀行預金通帳の照合

○**名誉会員・参与懇談会**

- ・例年、定時総会の日に開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○**企画委員会** 1 回(3/11)

(1) 第 1 回 (3/11)

1. 2019 年度第 2 回企画委員会 議事録の確認
〔審議事項〕
2. 100 周年記念事業について
3. 天然ガス部会の分科会統合について
4. エネルギー検定の改訂について
5. 2020 年度の諸検討課題について
〔連絡事項〕
6. 旅行業法に対するガイドラインの通知
7. イベント案内
8. 各部から活動報告（近況報告）
9. その他

○**総務委員会** 3 回 (3/17, 6/15, 9/6)

(1) 第 1 回総務委員会 (3/17) 書面審議

1. 「会員規程」の改訂について
2. 「人事考課規程」、「人事考課規程実施要領」の改訂について
3. 「職員就業規則」の改訂について

(2) 第 2 回総務委員会 (6/7) 書面審議

1. 「支部規程」の改訂について

(3) 第 3 回総務委員会 (9/6) 書面審議

1. 「オンライン会議アプリアカウント運用規程」および「同 実施要領」の制定について
2. 「表彰規程」の改訂について
3. 「支部規程」の改訂および「支部別会員リスト情報提供実施要領」の制定について

○**表彰委員会** 3 回(5/15, 7/17, 11/5)

- ・本年度論文賞受賞候補者の承認 (3 件) (5/15)
- ・本年度選考委員の承認 (7/17)
- ・本年度学会賞、進歩賞、功績賞、奨励賞受賞候補者の決定 (11/5)
学会賞（学術部門）2 件、学会賞（技術部門）2 件、
進歩賞（学術部門）2 件、進歩賞（技術部門）1 件、
功績賞 1 件、奨励賞 4 件
- ・その他表彰選考委員会 11 回
論文賞－編集委員会(2019/12/11, 2/19, 4/20)
奨励賞－液体微粒化部門(2019 年 11 月, 12/22)
奨励賞－バイオマス部門(2019/9/30, 2019/12/12)

- 奨励賞－大会部門（2020/3/15，大会中止）
- 奨励賞－石炭科学会議部門（2020/8/3，10/23）
- 部会長・支部長連絡会** 2020年11月24日（木）16：30～17：00
 - Web 開催
 - ・情報提供
 - 100周年記念事業の準備状況と今後の進め方
 - オンライン会議アプリの取り扱いについて
 - ・各部会・支部活動について（近況、今後の予定など）
- 編集委員会**
 - 2誌体制移行に伴い、平成29年6月以降、各紙を担当する2編集小委員会の体制に移行した。
 - ・日エネ学会誌編集小委員会 1回（書面開催 4/2）
 - ・日エネ学会機関誌えねるみくす編集小委員会 4回（書面開催、5/22，8/17，8/25，10/1）
 - ・特集記事および講座について、2020～2021年度の編集計画を策定
 - ・会誌9月号（Annual Review号）の発行
 - ・投稿論文について、Web上（J-STAGE）で最新号まで公開継続。
 - ・論文賞表彰について審議
- 出版委員会** 1回（8/25）（編集委員会と合同開催・書面開催）
 - 「廃プラスチックハンドブック」について検討した。
- 第29回大会実行委員会** 1回（2/3）
 - ・**第29回年次大会**（当社予定：8/5，6於 富山国際会議場大手町フォーラム）
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため現地開催中止
 - 大会は発表予稿集の発行を以て成立（研究発表：99件）
- 100周年記念事業委員会** 1回（11/5）
 - ・100周年記念事業準備の進捗状況、予算手当の検討
 - ・100周年記念事業実行計画策定の考え方及び今後の進め方について
- 100周年記念事業実行委員会** 1回（3/11：第1回企画委員会内で開催）
 - ・100周年記念事業の進め方・体制
 - ・100周年記念事業実施内容の討議
- 第17回維持会員懇談会**
 - 新型コロナウイルスの感染拡大により開催中止
- 学生のための国際会議発表支援** 0件
 - ・新型コロナウイルスの世界的な流行により予定された国際会議（International Petroleum Technology Conference（IPTC））は中止
- IEA/JECC（燃焼改善と排出物低減研究日本委員会）（受託調査）**
 - ・JECC-第19期第2回定例会議・Web開催（5/29）
 - オンライン研究室見学会（千葉大学・森吉研究室、群馬大学・石間研究室）
 - ・JECC-第19期第1回臨時会議・書面開催（9/23）
 - 収支報告；第19期1年目収支決算、第19期2年目予算案
 - ・JECC-第19期第3回定例会議・Web開催（12/8）
 - 8月、11月IEA/TLM会議報告
 - 収支報告；第19期2年目収支実績見通し

1-2 刊行

- 日本エネルギー学会誌「Journal of the Japan Institute of Energy」**（電子版、毎月）
 - 査読付き投稿論文 J-STAGEに掲載
- 日本エネルギー学会機関誌「えねるみくす」** 6冊発行（冊子、隔月）
 - 特集記事／トピックス 第99巻 第1号～第6号（第5号はアニュアルレビュー号）

1-3 部会関連

(1) 石炭科学部会

- ・第57回石炭科学会議（主催：石炭科学部会，コークス工学研究部会，重質油部会）
（共催：化学工学会エネルギー部会）
（10/27～28，Web開催（研究発表：27件））
（参加者：90名）

【特別講演】

「災害列島を逆手に取って暮らす覚悟」

長谷川 修一（香川大学）

【招待講演】

1. 「最先端レーザ計測技術の産業プロセス応用と次世代制御への活用」
出口 祥啓（徳島大学）
2. 「三菱ケミカル（株）香川事業所における石炭化学の取り組み」
古村 健（三菱ケミカル株式会社）
3. 「大崎クールジェンプロジェクトー高効率ゼロエミッション石炭火力発電を目指して」
三沢 信博（大崎クールジェン株式会社）

- ・第57回石炭科学会議 第1回実行委員会（5/28：Web開催）
- ・第57回石炭科学会議 第2回実行委員会（6/18：Web開催）
- ・第57回石炭科学会議 第3回実行委員会（7/6：Web開催）
- ・第57回石炭科学会議 第4回実行委員会（8/3：Web開催）
- ・第57回石炭科学会議 第5回実行委員会（8/6：Web開催）
- ・第57回石炭科学会議 第6回実行委員会（9/16：Web開催）
- ・第57回石炭科学会議 第7回実行委員会（10/28：Web開催、配信基地：全国家電会館）

(2) コークス工学研究部会

- ・第57回石炭科学会議：石炭科学部会と共催（10/27～28）（石炭科学部会欄参照）
- ・第57回石炭科学会議 実行委員会（石炭科学部会欄参照）

(3) 重質油部会

- ・第57回石炭科学会議：石炭科学部会と共催（10/27～28）（石炭科学部会欄参照）
- ・第57回石炭科学会議 実行委員会（石炭科学部会欄参照）

(4) 天然ガス部会

[資源開発・利用分科会]

- ・利用分科会との統合：第1回定例理事会にて承認され、資源開発・利用分科会として活動を開始。
- ・9月～10月：資源開発・利用分科会発足に伴うホームページ更新及び会員名簿更新を実施
- ・天然ガス部会の会員にアンケート送付（11/24）。コロナの影響を加味した内容でアンケート編集。（中間結果を12/21報告）
- ・天然ガス資源開発・利用分科会シンポジウム：テーマ、時期について検討（時期開催方法を事務局と検討予定）。

[輸送・貯蔵分科会]

- ・2021年度に向けてWeb会議又は小規模講習会開催を検討。

[科学反応・システム分科会]

- ・1/15 第4回新エネルギー・水素部会シンポジウム（13:30～18:10 於 全国家電会館）
主 催：新エネルギー・水素部会，共催：天然ガス部会科学・反応システム分科会
参加者：97人

- 講演 1. カーボンリサイクル実用化への展望 (九州大学・斉間等)
- 講演 2. 教育用CO₂回収装置の開発及びメカノケミカル反応を用いたCO₂からのメタン生成反応 (東京大学・村木風海)
- 講演 3. 二酸化炭素最適分離回収・利用システム (東京大学・甘蔗寂樹)
- 講演 4. Drop-in バイオ燃料の商業化に向けて (ユーグレナ・太田晴久)
- 講演 5. 触媒反応工学と常温作動のメタン化技術で拓くCO₂の資源化プロセス (静岡大学・福原長寿)
- [CBM(コールベッドメタン)・SG(シェールガス)研究会]
- ・10月 日本エネルギー学会へのCBMに関する情報提供依頼に対応
- [GH(ガスハイドレート)研究会]
- ・GH研究会50回記念企画「ハイドレート研究の歩み」書籍最終編集
 - ・5月会員名簿およびHP更新
 - ・第56回GH研究会(8/7:オンライン開催)(参加者45名)
- 【研究紹介1】「TBABセミクラスレートハイドレートの生成および成長に伴うインピーダンス変化」
嶋田 仁 (神戸大・学生)
- 【研究紹介2】「混合金属粒子の添加がテトラブチルアンモニウム塩水和物の核形成に及ぼす影響」
古賀 悠起 (青山学院大・学生)
- 【研究紹介3】「砂層型メタンハイドレート資源開発:フェーズ4の課題と計画」
山本 晃司 (JOGMEC)
- 【研究紹介4】「MICPを応用したメタンハイドレート由来のメタンガス回収支援手法に関する検討」
生駒 聖 (広島大・学生)
- 【研究紹介5】「Numerical Simulation on Optimum Scheme of CO₂-in-Water Emulsion Injection into Methane Hydrate Reservoirs (メタンハイドレート層へのCO₂エマルジョン圧入の最適計画に関する数値計算)」
邵莎睿 (東大・学生)
- 【講演】「砂層型メタンハイドレート開発商業化に向けて一技術以外に考えるべきこと」
長久保 定雄 (日本メタンハイドレート調査㈱)
- ・9/1、10/8 天然ガス部会 GH研究会HP 活動実績他、会員情報更新
 - ・9/30 「日本のガスハイドレート研究の歩み～黎明期から最先端まで～」発刊 (10/8 天然ガス部会HPに書籍案内掲載)
 - ・「えねるみくす」(2021年3月号)GH特集発行企画中
- [その他、部会共通]
- ・合同幹事会 2回(7/16:石油資源開発(株)本社(参加者13名)、12/21:東京ガス(株)本社(参加者15名))
 - ・7月 天然ガス部会HPトップページ、部会長挨拶ページ等更新

(5) バイオマス部会

- ・第16回バイオマス科学会議(2021年1月20、21日 オンライン開催)、第8回アジアバイオマス科学会議(2021年1月22日 オンライン開催)の開催準備
- ・第16回バイオマス科学会議、第8回アジアバイオマス科学会議 第1回実行委員会(6/24:オンライン開催)
- ・第20回バイオマス部会・研究会 合同交流会(11/13:Web開催)

[内容]

○各部会・研究会の1年の活動報告:(公社)化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会、(一社)日本エネルギー学会バイオマス部会、(一社)日本木材学会バイオマス変換研究会、バイオマス利用研究会、(一財)バイオインダストリー協会アルコール・バイオマス研究会、木質バイオ

オマス利用研究会

- 講演 1 「京都市でのバイオオマスの取組」京都市環境政策局長 長谷川 一樹
 - 講演 2 「サーキュラーエコノミーに基づく地域バイオコミュニティの構築」
国立大学法人三重大学 大学院生物資源学研究所 教授 先端科学技術研究支援センター・バイオインフラマティクス部門 社会連携推進室長 田丸 浩
 - 講演 3 「木質バイオマス発電設備に関する最新状況」
株式会社タクマ エネルギー本部プラント 2 部 1 課 課長 荒木 健太郎
 - 講演 4 「バイオマスイエネの地産地消とその将来展望」
ヤンマーエネシステム株式会社 ソリューション推進室営業部営業推進グループ 森朝 昭典
- 総合討論

(6) 新エネルギー・水素部会

- ・ 第 4 回新エネルギー・水素部会 シンポジウム 「カーボンリサイクルの新機軸」
(1/15：全国家電会館) (参加者：97 名)
 1. 「カーボンリサイクル実用化への展望」
(九州大学 齊間 等)
 2. 「教育用 CO₂回収装置の開発，及びメカノケミカル反応を用いた CO₂からのメタン生成反応」
(東京大学 村木 風海)
 3. 「二酸化炭素最適分離回収・利用システム」
(東京大学 甘蔗 寂樹)
 4. 「Drop-in バイオ燃料の商業化に向けて」
(株)ユーグレナ 太田 晴久
 5. 「触媒反応工学と常温作動のメタン化技術で拓く CO₂の資源化プロセス」
(静岡大学 福原 長寿)
- ・ 研究発表会 (8/5： 9:15～17:20 於 Webex によるオンライン開催)
講演件数： 18 件
登録参加者数： 62 名
優秀学生賞の選出を実施，1 名を表彰
- ・ 企画会議 3 回 (6/18：web 会議，7/10：広島大学，10/13：広島大学)

(7) ガス化部会

- ・ [リサイクル・バイオマス・ガス化] 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年度の三部会 (RGB) シンポジウム は中止し、2021 年 5 月中旬に延期した。

(8) 燃焼部会

- ・ 「燃焼に関する講習会」～エネルギー管理士 (熱分野) への第一歩～
(7/18～8/30：オンデマンド配信) (受講者：21 名)

【講習会】

1. 「熱力学の基礎」 飯島 晃良 (日本大学)
2. 「流体工学の基礎」 飯島 晃良 (日本大学)
3. 「伝熱工学の基礎」 奥村 幸彦 (香川大学)
4. 「燃料と燃焼」 奥村 幸彦 (香川大学)
5. 「計測と自動制御・熱利用設備」 神原 信志 (岐阜大学)

(9) 液体微粒化部会

- ・第16回微粒化セミナー（日本液体微粒化学会と共同主催）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。
- ・第29回微粒化シンポジウム（29th Symposium (ILASS-Japan) on Atomization）
（日本液体微粒化学会（ILASS-Japan）と共同主催）
（12/17～18：オンライン開催（研究発表：30件、特別講演：1件））
（参加者：24名）

【特別講演】

「Tip Penetration of Diesel Spray Normalized by Breakup Length and Time」

Professor Emeritus Masataka Arai (Gunma University)

- ・幹事会2回(8/24(月), 10/6(火)):オンラインにて開催)

(10) 省エネルギー・消費者行動部会

- ・秋の勉強会「電気の歴史を学ぶ：暮らしにおける電気の利用をめぐる格差とその縮小—電気事業草創期から1964年東京オリンピックの頃、そして」（11/10オンライン開催）
（参加者29名）

【内容】

1. EECB 部会長挨拶と話題提供 坂西 欣也（産業技術総合研究所）
 2. 講演「暮らしにおける電気の利用をめぐる格差とその縮小—電気事業草創期から1964年東京オリンピックの頃、そして現在—」 狩野雄一（東京電力ホールディングス㈱電気の史料館）
 3. 意見交換
- ・幹事会4回（7/7：Web開催，9/4：Web開催，10/22：Web開催，12/4：Web開催）

(11) リサイクル部会

- ・[リサイクル・バイオマス・ガス化] 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度の三部会（RGB）シンポジウムは中止し、2021年5月中旬に延期した。
- ・「廃プラスチックハンドブック」キックオフミーティング（7/17:学会事務局）（参加者7名）

(12) 「エネルギー学」部会

- ・エネルギー・資源学会と共同の「エネルギー検定」改訂委員会において検定問題(600問)の改定作業を行った（Webexにて開催,4/10, 9/7, 10/13, 11/16。出席：山本、島崎、永富）
- ・運営委員会 2回（2/4：電力中央研究所，11/13：Webex）。

1-4 支部関連

(1) 北海道支部

- ・第20回北海道エネルギー資源環境研究発表会（1/28：北海道大学工学部）（参加者：27名）

【特別講演】

1. バイオマス利活用で生まれるエネルギーの価値とは ～SDGsと地域循環共生圏～
落合 知（北海道大学）
2. 地域と資源とエネルギーの環づくり ～畜産バイオマスを核とした資源循環・エネルギー地産地消～
林 峰之（上士幌町）

- ・総会 1回（1/28：北海道大学工学部）
- ・幹事会 1回（1/28：北海道大学工学部）
- ・庶務幹事会 6回（1/28、3/13、10/19：北海道大学工学部）
（5/27、7/29、11/18：支部長交代、支部ホームページ更新、支部アンケート）

ト結果などについてメール会議)

- ・共催・協賛行事：新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止

(2) 東北支部

- ・令和2年度講演会・見学会（11/6～7：秋田ビューホテル）新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度に延期
- ・2020年度第1回役員会（9/1：オンライン）
- ・共催・協賛行事
 - 第12回製鉄・資源に関するWork shop（還元研究会）（1/23-24：宮城・秋保温泉，共催）
 - 東北再生可能エネルギー研究会 令和元年度講演会（2/7：仙台，後援）
 - 令和元年度技術講演会および見学会（2/13：宮城・ホテル法華クラブ仙台，協賛）
 - 第25回東北ジョイント夏季セミナー（9/11-12：オンライン，協賛）

(3) 関西支部

- ・合同セミナー 第36回日本エネルギー学会関西支部セミナー ～水素社会に向けてのキャリア戦略～
（10/16：関西大学千里山キャンパス（石油学会関西支部共催））（参加者：40名）
【講演】
 1. 「オンサイト型水素発生と吸蔵セラミック材料の開発」 平尾 一之（京都大学 名誉教授）
 2. 「化石燃料の大量消費と環境問題を解決するためのエネルギーキャリア戦略－水素社会の実現を目指して！－」 赤松 史光（大阪大学）
 3. 「水素分離膜を用いたMCH脱水素の開発」 安原 健一郎（（公財）地球環境産業技術研究機構）
 4. 「国際水素サプライチェーン構築に向けた水素液化機の開発」 松田 吉洋（川崎重工業(株)）
- ・合同研究発表会 日本エネルギー学会関西支部第65回研究発表会
（Zoomによるオンライン開催（石油学会関西支部共催））（参加者：38名）
口頭発表：17件
- ・幹事会 4回（1/21：アーバネックス備後町ビル，6/2，9/1：Zoomによるオンライン開催，10/16：
関西大学千里山キャンパス）

(4) 西部支部

- ・第5回エネルギー技術講演会
（ZOOMによるオンライン講演会）（参加者：60名）
【内容】
 - 講演1 「カーボンリサイクルの実用化への展望」 齊間等（九州大学）
 - 講演2 「二酸化炭素固体吸収材の実用化に向けた研究開発の進展」 余語克則（RITE）
 - 講演3 「バイオマスからのジェット燃料製造技術の開発」 篠田克彦（三菱パワー）
 - 講演4 「二酸化炭素有効利用のためのメタネーション技術の開発」 泉屋宏一（日立造船）
- ・第19回九州低炭素システム研究会（中止）
- ・第4回 学生・若手研究発表会（中止）
- ・幹事会 2回（8/19：オンライン（Teams），11/25：オンライン（ZOOM））
- ・共催・協賛行事（なし）

1-5 受託調査関連

No.	テーマ名	委託元	期間	委員長
1	日本 IEA 燃焼研究－燃焼に関する省エネルギーと排出物低減	IEA 研究会維持会員	2020.6－2021.5	石間 経章

2. 会員状況報告

		2019年度末数	増 (+)	減 (-)	2020年度末数
維持 会 員	特級	3	0	0	3
	1級	2	0	0	2
	2級	3	0	1	2
	3級	8	0	1	7
	4級	18	0	0	18
	5級	87	0	5	82
小計		121	0	7	114
名誉会員		17	0	0	17
正会員※		1,257	68	162	1,163
小計		1,274	68	162	1,180
賛助会員		96	4	9	91
会員数 合計		1,491	72	178	1,385

但し、年度末退会数を含む。

※ (2016年度末) 内 シニア会員 226 (17%)、学生会員 119 (9%)

※ (2017年度末) 内 シニア会員 231 (18%)、学生会員 102 (8%)

※ (2018年度末) 内 シニア会員 222 (18%)、学生会員 139 (11%)

※ (2019年度末) 内 シニア会員 224 (18%)、学生会員 154 (12%)

※ (2020年度末) 内 シニア会員 210 (18%)、学生会員 120 (10%)

2020年度事業報告 附属明細書

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

第2号議案 2020年1月1日から2020年12月31日までの貸借対照表、
正味財産増減計算書、財産目録の承認の件

貸借対照表

2020年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

科 目	(A)	(B)	(A-B) (単位:円)	
	当年度	前年度	増 減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	45,615,690	42,325,045		3,290,645
売掛金	428,268	1,110,710	△	682,442
未収金	988,597	1,447,947	△	459,350
前払金	457,224	505,136	△	47,912
棚卸資産	1,577,927	1,615,927	△	38,000
立替金	△ 701	△ 1,716		1,015
流動資産合計	49,067,005	47,003,049		2,063,956
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引預金	200,000	200,000		0
基本財産合計	200,000	200,000		0
(2) 特定資産				
退職給付引預金	3,708,000	3,274,200		433,800
会費補填引預金	9,500,000	9,500,000		0
特定資産合計	13,208,000	12,774,200		433,800
(3) その他固定資産				
電話加入権	30,550	30,550		0
借室保証金	3,488,000	3,488,000		0
その他固定資産合計	3,518,550	3,518,550		0
固定資産合計	16,926,550	16,492,750		433,800
資産合計	65,993,555	63,495,799		2,497,756
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	329,710	427,070	△	97,360
前受金	749,000	354,000		395,000
預り金	428,639	492,226	△	63,587
未払法人税等	70,000	70,000		0
未払消費税等	115,753	451,177	△	335,424
流動負債合計	1,693,102	1,794,473	△	101,371
2. 固定負債				
退職給付引当金	3,708,000	3,274,200		433,800
固定負債合計	3,708,000	3,274,200		433,800
負債合計	5,401,102	5,068,673		332,429
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0		0
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	(200,000)	(200,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,208,000)	(12,774,200)	(433,800)
正味財産合計	60,592,453	58,427,126		2,165,327
負債及び正味財産合計	65,993,555	63,495,799		2,497,756

貸借対照表内訳表

2020年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

科 目	実施事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	△ 164,003,575	66,536,203	143,083,062	45,615,690
売掛金	121,539	306,729	0	428,268
未収金	0	77,397	911,200	988,597
前払金	0	73,544	383,680	457,224
棚卸資産	617,000	960,927	0	1,577,927
立替金	0	0	△ 701	△ 701
流動資産合計	△ 163,265,036	67,954,800	144,377,241	49,067,005
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引預金	0	0	200,000	200,000
基本財産合計	0	0	200,000	200,000
(2) 特定資産				
退職給付引預金	0	0	3,708,000	3,708,000
会費補填引預金	0	0	9,500,000	9,500,000
特定資産合計	0	0	13,208,000	13,208,000
(3) その他固定資産				
電話加入権	0	0	30,550	30,550
借室保証金	0	0	3,488,000	3,488,000
その他固定資産合計	0	0	3,518,550	3,518,550
固定資産合計	0	0	16,926,550	16,926,550
資産合計	△ 163,265,036	67,954,800	161,303,791	65,993,555
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	0	329,710	0	329,710
前受金	0	734,000	15,000	749,000
預り金	0	12,050	416,589	428,639
未払法人税等	0	0	70,000	70,000
未払消費税等	0	0	115,753	115,753
流動負債合計	0	1,075,760	617,342	1,693,102
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	0	3,708,000	3,708,000
固定負債合計	0	0	3,708,000	3,708,000
負債合計	0	1,075,760	4,325,342	5,401,102
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	△ 163,265,036	66,879,040	156,978,449	60,592,453
(うち特定資産への充当額)	0	0	200,000	200,000
正味財産合計	△ 163,265,036	66,879,040	156,978,449	60,592,453
負債及び正味財産合計	△ 163,265,036	67,954,800	161,303,791	65,993,555

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記において記載をしている。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付 引当金	3,274,200	433,800	0	0	3,708,000

正味財産増減計算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(A)

(B)

(A - B) (単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[31,831,800]	[34,646,100]	[△ 2,814,300]
維持会員受取会費	21,700,000	23,150,000	△ 1,450,000
賛助会員受取会費	1,920,000	2,088,000	△ 168,000
正会員受取会費	8,211,800	9,408,100	△ 1,196,300
参加会費	[0]	[48,000]	[△ 48,000]
新春祝賀会参加会費	0	48,000	△ 48,000
事業収益	[10,443,904]	[25,411,126]	[△ 14,967,222]
講演講習会収益	2,733,397	16,912,547	△ 14,179,150
分析収益	211,635	215,273	△ 3,638
安息香酸収益	2,580,600	2,961,504	△ 380,904
調査研究収益	1,450,660	1,209,044	241,616
会誌別刷売上	339,427	322,785	16,642
広告収益	183,333	435,600	△ 252,267
書籍収益	423,045	449,766	△ 26,721
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,121,807	1,504,607	△ 382,800
総会賛助金	[0]	[750,000]	[△ 750,000]
総会賛助金	0	750,000	△ 750,000
受取寄付金	[0]	[870,000]	[△ 870,000]
受取寄付金	0	870,000	△ 870,000
雑収益	[3,900,937]	[519,566]	[3,381,371]
受取利息	2,258	2,921	△ 663
雑収益	3,898,679	516,645	3,382,034
経常収益計	46,176,641	62,244,792	△ 16,068,151
(2) 経常費用			
事業費	[29,886,325]	[45,454,116]	[△ 15,567,791]
給料手当	9,051,941	9,759,080	△ 707,139
講演講習会運営費	1,217,754	8,564,871	△ 7,347,117
旅費交通費	336,048	3,027,940	△ 2,691,892
通信運搬費	593,283	1,315,310	△ 722,027
調査研究費	319,850	350,660	△ 30,810
消耗品費	6,656	8,042	△ 1,386
印刷製本費	8,097,220	10,742,056	△ 2,644,836
支部費	1,400,000	1,400,000	0
広告宣伝費	0	20,417	△ 20,417
借室費	3,222,912	3,178,963	43,949
会議費	48,625	399,425	△ 350,800
諸謝金	1,345,329	1,851,969	△ 506,640
租税公課	156,200	0	156,200
分析費	158,726	161,452	△ 2,726
支払寄付金	0	185,392	△ 185,392
安息香酸費	2,064,480	2,368,988	△ 304,508
雑費	1,769,276	1,954,153	△ 184,877
出入金手数料	98,025	165,398	△ 67,373
管理費	[14,084,049]	[17,195,987]	[△ 3,111,938]
給料手当	3,879,403	4,182,463	△ 303,060
社会保険料	1,562,707	1,522,773	39,934
退職給付費用	433,800	419,800	14,000

科 目	(A)	(B)	(A - B)
	当年度	前年度	増 減
労働保険料	123,776	310,453	△ 186,677
福利厚生費	27,538	55,916	△ 28,378
会議費	699,450	2,391,000	△ 1,691,550
旅費交通費	1,031,320	1,139,568	△ 108,248
通信運搬費	1,295,896	1,416,617	△ 120,721
消耗品費	117,375	159,928	△ 42,553
印刷製本費	459,957	1,211,443	△ 751,486
光熱水料費	335,394	304,963	30,431
借室費	1,381,248	1,362,413	18,835
保険料	6,920	7,200	△ 280
諸謝金	0	89,096	△ 89,096
租税公課	314,106	576,456	△ 262,350
雑費	2,415,159	2,045,898	369,261
出入金手数料	[91,740]	[102,626]	[△ 10,886]
雑損出	[550]	[0]	[550]
経常費用計	44,062,664	62,752,729	△ 18,690,065
評価損益等調整前当期経常増減額	2,113,977	△ 507,937	2,621,914
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,113,977	△ 507,937	2,621,914
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	[75,000]	[26,000]	[49,000]
経常外収益計	75,000	26,000	49,000
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	[23,650]	[27,720]	[△ 4,070]
経常外費用計	23,650	27,720	△ 4,070
当期経常外増減額	51,350	△ 1,720	53,070
当期一般正味財産増減額	2,165,327	△ 509,657	2,674,984
一般正味財産期首残高	58,427,126	58,936,783	△ 509,657
一般正味財産期末残高	60,592,453	58,427,126	2,165,327
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	60,592,453	58,427,126	2,165,327

財産目録

2020年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	1,294,299
	預金	普通預金		23,103,103
		三菱UFJ銀行1772623		7,216,030
		三井住友銀行746925 2		12,822,522
		三菱UFJ銀行1772610		1,552,984
		三菱UFJ銀行2129006		125,684
		三菱UFJ銀行2129077		1,385,883
		振替預金		1,345,945
		支部現金預金		4,850,238
		関西支部勘定		1,898,058
		西部支部勘定		1,541,375
		北海道支部勘定		500,066
		東北支部勘定		910,739
		定期預金		15,022,105
		三菱UFJ銀行1772610		5,000,000
	三井住友銀行138000 4	10,022,105		
	売掛金		428,268	
	未収金		988,597	
	前払金		457,224	
	棚卸資産		1,577,927	
	立替金		△ 701	
流動資産合計				49,067,005
(固定資産)	基本財産			
		基本財産引預金	(定期)三菱UFJ銀行	200,000
	特定資産	退職給付引預金	(普通)三菱UFJ銀行	3,708,000
		会費補填引預金	(定期)三菱UFJ銀行	9,500,000
	その他固定資産	電話加入権		30,550
	借室保証金		3,488,000	
固定資産合計				16,926,550
資産合計				65,993,555
(流動負債)	未払金			329,710
	前受金			749,000
	預り金			428,639
		給与等源泉徴収		416,589
		諸謝金源泉徴収		12,050
		未払法人税等		70,000
		未払消費税等		115,753
流動負債合計				1,693,102
(固定負債)	退職給付引当金			3,708,000
	固定負債合計			
負債合計				5,401,102
正味財産				60,592,453

予算対比正味財産増減計算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(A) (B) (A-B) (単位：円)

科 目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A-B) 差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[33,458,000]	[31,831,800]	[1,626,200]
維持会員受取会費	23,000,000	21,700,000	1,300,000
賛助会員受取会費	1,880,000	1,920,000	△ 40,000
正会員受取会費	8,578,000	8,211,800	366,200
参加会費	[48,000]	[0]	[48,000]
新春祝賀会参加会費	48,000	0	48,000
事業収益	[21,354,000]	[10,443,904]	[10,910,096]
講演講習会収益	13,000,000	2,733,397	10,266,603
分析収益	200,000	211,635	△ 11,635
安息香酸収益	3,000,000	2,580,600	419,400
調査研究収益	1,100,000	1,450,660	△ 350,660
会誌別刷売上	350,000	339,427	10,573
広告収益	194,000	183,333	10,667
書籍収益	410,000	423,045	△ 13,045
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,700,000	1,121,807	578,193
総会賛助金	[650,000]	[0]	[650,000]
総会賛助金	650,000	0	650,000
雑収益	[211,800]	[3,900,937]	[△ 3,689,137]
受取利息	1,800	2,258	△ 458
雑収益	210,000	3,898,679	△ 3,688,679
経常収益計	55,721,800	46,176,641	9,545,159
(2) 経常費用			
事業費	[26,671,000]	[29,886,325]	[△ 3,215,325]
給料手当	0	9,051,941	△ 9,051,941
講演講習会運営費	6,464,000	1,217,754	5,246,246
旅費交通費	2,367,000	336,048	2,030,952
通信運搬費	825,000	593,283	231,717
調査研究費	0	319,850	△ 319,850
消耗品費	7,000	6,656	344
印刷製本費	8,977,000	8,097,220	879,780
支部費	1,400,000	1,400,000	0
借室費	0	3,222,912	△ 3,222,912
会議費	296,000	48,625	247,375
諸謝金	1,804,000	1,345,329	458,671
租税公課	0	156,200	△ 156,200
分析費	150,000	158,726	△ 8,726
安息香酸費	2,400,000	2,064,480	335,520
雑費	1,820,000	1,769,276	50,724
出入金手数料	161,000	98,025	62,975
管理費	[28,569,000]	[14,084,049]	[14,484,951]
給料手当	13,100,000	3,879,403	9,220,597
社会保険料	1,550,000	1,562,707	△ 12,707
退職給付費用	420,000	433,800	△ 13,800
労働保険料	310,000	123,776	186,224
福利厚生費	68,000	27,538	40,462
会議費	2,000,000	699,450	1,300,550
旅費交通費	1,200,000	1,031,320	168,680

科 目	(A)	(B)	(A-B)
	予算額	決算額	差異
通信運搬費	1,200,000	1,295,896	△ 95,896
消耗品費	160,000	117,375	42,625
印刷製本費	720,000	459,957	260,043
光熱水料費	320,000	335,394	△ 15,394
借室費	4,604,000	1,381,248	3,222,752
保険料	7,000	6,920	80
諸謝金	90,000	0	90,000
租税公課	770,000	314,106	455,894
雑費	2,050,000	2,415,159	△ 365,159
出入金手数料	[120,000]	[91,740]	[28,260]
雑損出	[0]	[550]	[△ 550]
経常費用計	55,360,000	44,062,664	11,297,336
評価損益等調整前当期経常増減額	361,800	2,113,977	△ 1,752,177
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	361,800	2,113,977	△ 1,752,177
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	[0]	[75,000]	[△ 75,000]
経常外収益計	0	75,000	△ 75,000
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	[0]	[23,650]	[△ 23,650]
経常外費用計	0	23,650	△ 23,650
当期経常外増減額	0	51,350	△ 51,350
当期一般正味財産増減額	361,800	2,165,327	△ 1,803,527
一般正味財産期首残高	58,427,126	58,427,126	0
一般正味財産期末残高	58,788,926	60,592,453	△ 1,803,527
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	58,788,926	60,592,453	△ 1,803,527

※【配賦前の合計額】

科目	(A)	(B)	(A-B)
	予算額	決算額	差異
給料手当	13,100,000	12,931,344	168,656
借室費	4,604,000	4,604,160	△ 160

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

平成22年12月期から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金、前払金、棚卸資産、立替金、仮払金、買掛金、未払金、前受金、預り金、仮受金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度以降において発生すると認められる債務額を計上している。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

当事業年度末における会誌及び書籍の在庫額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 正味財産に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
基本財産	200,000	200,000
電話加入権	30,550	30,550
借室保証金	3,488,000	3,488,000
退職給付引当預金	3,274,200	3,708,000
会費補填引当預金	9,500,000	9,500,000
合 計	16,492,750	16,926,550
現金預金	42,325,045	45,615,690
売掛金	1,110,710	428,268
未収金	1,447,947	988,597
前払金	505,136	457,224
棚卸資産	1,615,927	1,577,927
立替金	-1,716	-701
仮払金	0	0
合 計	47,003,049	49,067,005
退職給付引当金	3,274,200	3,708,000
合 計	3,274,200	3,708,000
買掛金	0	0
未払金	427,070	329,710
前受金	354,000	749,000
預り金	492,226	428,639
仮受金	0	0
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	451,177	115,753
合 計	1,794,473	1,693,102
正味財産	58,427,126	60,592,453

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	200,000	0	0	200,000
小計	200,000	0	0	200,000
特定資産				
退職給付引当預金	3,274,200	433,800	0	3,708,000
会費補填引当預金	9,500,000	0	0	9,500,000
小計	12,774,200	433,800	0	13,208,000
合計	12,974,200	433,800	0	13,408,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	200,000	0	200,000	0
小計	200,000	0	200,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	3,708,000	0	3,708,000	3,708,000
会費補填引当預金	9,500,000	0	9,500,000	0
小計	13,208,000	0	13,208,000	3,708,000
合計	13,408,000	0	13,408,000	3,708,000

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記において記載をしている。

2. 引当金の明細

引当金については、財務諸表の注記において記載をしている。

監査報告書

一般社団法人 日本エネルギー学会
会 長 牧野 尚夫 殿

2021年1月18日

監 事 島田 秀顕 

監 事 水本 明彦 

私は、2020年1月1日から2020年12月31日までの2020年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査 帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査 理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 2021・2022年度理事・監事の承認の件

2021・2022年度の理事および監事の候補者は次の通りです。

なお、本会定款第20条、及び理事、監事及び会長の選出に関する規程第12条の候補者の公示に関する規程により学会ホームページにて公示を行い、締切日の2021年1月8日（金）までに異議の申し出はありませんでした。

(一社)日本エネルギー学会 2021・2022年度理事および監事候補者氏名

理 事(五十音順)				
青木 秀之	東北大学		坂西 欣也	(国研)産業技術総合研究所
秋澤 淳	東京農工大学		清水 忠明	新潟大学
天谷 賢児	群馬大学		定梶 潤	東京電力ホールディングス(株)
安藤 宣明	(一社)日本エネルギー学会		鷹觜 利公	(国研)産業技術総合研究所
池島 賢治	大阪ガス(株)		成瀬 一郎	名古屋大学
池永 直樹	関西大学		藤井 良基	JFEスチール(株)
板谷 義紀	岐阜大学		藤山 優一郎	ENEOS(株)
梶谷 史朗	(一財)電力中央研究所		藤原 尚樹	出光興産(株)
木本 憲太郎	東京ガス(株)		八木田 浩史	日本工業大学
児玉 竜也	新潟大学		行本 正雄	中部大学
齋藤 公児	日本製鉄(株)	○		
監 事(五十音順)				
島田 秀顕	(株)東芝		水本 明彦	電源開発(株)

○ 印は会長候補者

第4号議案 2021・2022年度補欠理事選任の承認の件

2021・2022年度の補欠理事として次の候補者を承認願います。

1. 2020年度第5回定例理事会（2021年1月27日）議決済

日本エネルギー学会 事務局長 上田 巖

第5号議案 2021年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

2021年度の主たる事業計画

1. 指針

昨今の世界的なコロナ禍の影響を受けつつも、真に持続可能な社会構築に向けて、地球温暖化防止等の環境保全、エネルギー資源の多様化、エネルギー自給率とコスト、安全性などの観点から、より一層の省エネルギーや資源循環を進めながら、化石エネルギー、再生可能エネルギー、原子力などのエネルギーミックスや対応技術を最適化することは、日本のエネルギー・環境政策に課せられた大きな課題である。特に、2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すを発表し、エネルギー基本計画の更なる見直しの中で電力の非化石化のみならず、運輸・産業界等でもより一層の化石資源使用の低減によって2050年カーボンニュートラルを実現するロードマップを提示することが喫緊の最重要課題となっている。

このような情勢の中、エネルギーに関連する各分野において、専門的かつ幅広い情報、人脈を有する当学会は、「環境の時代における化石資源と再生可能エネルギーのそれぞれの役割とそれを支える技術」に関する情報発信が大切である。学会活性化の要諦は部会および支部の活性化が基本であり、会員および社会の要望に対応するために、学会の委員会、部会、支部の活動の更なる活性化を図り、諸課題の解決に貢献していく。財務・運営タスクフォースの提言に沿って財務を強化しつつ、諸活動を進める。

2. 委員会・部会・支部の活動方針および行事計画等

(1) 委員会活動方針

委員会	活動方針
企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 部会・支部と連携し、活発な学会活動を推進するための方策を検討する。 ② 産・官・学や他学会と連携を図り、地球環境問題などの課題への対応を検討する。 ③ 会員に特典を供与するため、会員へのサービスの改善を検討する。 ④ 理事会、会員増強委員会と連携し、維持会員サービスの向上および維持会員の拡充を推進する。 ⑤ ホームページの充実やメディア対応など積極的な広報活動を推進する。
総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 一般社団法人に対応したガバナンスの向上（規程の制定や見直し等）を図る。 ② 学会の運営について随時必要な改善を図る。 ③ 規程に沿って、事務局の人事体制を効率化、強化を図る。
財務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 学会経営の健全性を確認しながら、新型コロナウイルスの感染防止対策を含め、急速に変化する経営環境下での厳しい経済環境に対応して今後の安定的運営策を策定する。 ② 財務・運営タスクフォースのフォローの実施を通じて、財務収支の黒字基調を継続する。安定運営に必要な正味財産を確保する。
表彰委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 表彰委員会において、応募件数増に繋がるよう対策を検討する。特に維持会員の新技術が応募対象になるよう周知方法等を検討する。 ② 功績賞、技術部門の候補については応募が広がるように検討する。 ③ 必要に応じて表彰規程および表彰規程実施要領を改訂し、選考を適切に実施し、より有意義な表彰を行う。
会員増強委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 会員にとってより魅力ある学会にする為の具体策について理事会、企画委員会と連携して検討し実施する。 ② エネルギー、環境に関連する各種団体、企業等の入会勧誘策を検討して実施する。 ③ 維持会員増強を理事の協力のもと具体的に進める。
編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 学会誌の2誌体制移行に伴い、変更した編集方針に基づき、各誌編集小委員会において会誌の一層の充実を図る。 ② 各部会との連携（特集記事／トピックス、講座の企画など）を強化する。 ③ Annual Review号（9月号）の各分野の内容を充実して継続する。 ④ 機関誌えねるみくすの全記事をJ-STAGEに掲載する。 ⑤ 機関誌えねるみくす電子化に伴い、電子版の充実を検討する。 ⑥ インパクトファクター取得等について検討を引き続き進める。

委員会	活動方針
出版委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 各種図書のタイムリーな出版に向けて、編集小委員会、各編集WG・執筆者・出版会社・学会事務局との調整を図りながら推進する。 ② 学会誌の特集記事、講座等を活用して出版への企画を行う。
国際委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 学会の各種企画や年次大会において、各部会等と協力しながら海外からの講演を推進する。 ② アジア・太平洋地区の関係者と情報交換を通じて協力・連携を図る。 ③ アジアバイオマス科学会議など、国際会議の企画・運営を推進する。
大会実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 第30回年次大会(8/4～5)(富山国際会議場を予定)を円滑に推進する。なお、新型コロナウイルスの感染状況に対応して安全・衛生に配慮したオンライン開催などの手段も講じる。 ② 大会の中でタイムリーな内容の特別講演、基調講演等を企画、実施する。 ③ 大会の中で論文賞の表彰を行い、学会誌への論文投稿を促す。 ④ 大会の中で幹事会の開催など各部会の活動を促す。
100周年記念事業委員会 100周年記念事業実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業委員会は、100周年記念事業に関する意思決定機関として審議、承認を行う。 ② 実行委員会は、(i)100周年記念事業の内容や時期を企画し、(ii)各部会・支部、編集委員会、出版委員会、大会実行委員会等(実施主体)に具体的な実施計画策定を依頼、(iii)その結果を集約、討議の上、100周年記念事業の全体像(スケジュール)を策定し、(iv)事業委員会(もしくは直近の理事会)への報告や諮問を行う。また、その結果を上記の各実施主体の2022年度活動計画に反映するようフォローを行う。

(2) 部会活動方針および行事計画等

部会	活動方針	行事計画等
石炭科学部会	<ul style="list-style-type: none"> ① 石炭科学会議の活性化を図るため、石炭および炭素資源の研究・技術開発の他、カーボンリサイクル分野を取り入れて積極的に活動を推進する。 ② 若手研究者・技術者への技術の継承を目的として、石炭科学会議特別セミナー「石炭の研究・技術開発に取り組んで-わたしの自慢-」を企画する。 ③ 石炭・炭素資源有効利用研究会、JCOAL、NEDO等との連携を通して、若手石炭研究者や技術者の人材育成を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第58回石炭科学会議開催(10/26-28, 仙台)、石炭・炭素資源有効利用研究会との合同開催、テクニカルツアーを実施 ② サイドイベントとして特別企画～セミナー「石炭の研究・技術開発にとりくんで-わたしの自慢-」(10/25, 仙台) ③ 実行委員会・幹事会の開催(4月, 8月, 10月) ④ 100周年記念事業の企画行事に対して実施計画を策定する。
コークス工学研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ① コークス工学の深化と製造・利用技術の革新のための議論交換の場を提供する。 ② コークス生産技術の深化と関連産業への技術トランスファーおよび石炭資源の有効利用技術について議論する。 ③ 石炭科学部会との連携により、石炭科学会議への研究発表と勧誘活動を行う。 ④ コークス・ノートの発刊により、コークス工学に関する情報の発信と部会員の増加に努める。 ⑤ コークス工学における若手の研究者と技術者間の交流・討議の場を設けて活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第58回石炭科学会議開催(10/26-27, 仙台)を石炭科学部会と共同開催。「コークス」セッションの企画, 運営, サイドイベントの共催 ② 実行委員会・幹事会の開催(4月, 8月, 10月) ③ 機関誌 Annual Review 号(9月号)の「コークス」執筆 ④ 100周年記念事業の企画行事に対して実施計画を策定する。

部会	活動方針	行事計画等
重質油部会	① 産学官連携を通じた重質油関連の技術開発、特に重質油有効利用拡大を目指した活動を図る。 ② 重質油およびハイδροカーボノミクスの将来の用途、適用可能な要素技術と課題のリストアップを行う。 重質油の動向に関する情報収集と発信を図る。	① 第58回石炭科学会議(10/26-28, 仙台)の共催 ② ハイδροカーボノミクスの用途、要素技術に関する勉強会の開催 ③ 実行委員会・幹事会の開催(4月, 8月, 10月) ④ 100周年記念事業の企画行事に対して実施計画を策定する。
天然ガス部会	① 我が国の基幹エネルギーの1つである天然ガスに関して、その利用拡大を更に進めるため、資源開発・利用、輸送・貯蔵、科学・反応システムの3つの分科会において情報交換・情報提供を推進する。 ② 分科会に加え、非在来型天然ガスとして注目されているCBM・SG(コールベッドメタン・シェールガス)及びGH(ガス・ハイドレート)に係る2つの研究会において、情報交換及び研究活動を行っていく。 ③ 各分科会及び研究会では、研究発表、シンポジウム、講習会、見学会等の活動を、独自にまたは合同で行い、部会メンバー(及び天然ガスに関心を持つ人達)の情報の共有や交流を深めていく。 機関紙「えねるみくす」に天然ガス関連の記事掲載を企画していく。	① 部会全体： ・部会員のための部会メールによる情報提供やホームページの充実を図っていく。 ・新型コロナ対応に鑑み、オンラインの活用(実開催との併用含む)についても、実施方法を検討し、実施する。 ・2022年度実施予定の日本エネルギー学会100周年記念事業に向けて企画の検討および準備を進める。 ・部会全体での活動について、その進め方、具体的な企画などを検討する。(第1回合同幹事会より前に、企画検討の場を設ける、100周年記念事業との兼ね合いも考慮) ② 分科会：各分科会で見学会、講演会等を実施する。 ③ 研究会：各研究会で各々数回の研究会を実施する。
バイオマス部会	① バイオマス関連の情報交換、情報発信の場とする部会としての目的を遂行する。	① 年次大会(8月)にて総会の開催 ② 夏の学校(9月頃予定) ③ 第16回バイオマス科学会議、第8回アジアバイオマス科学会議(1月、web)実施。第17回バイオマス科学会議、第9回アジアバイオマス科学会議準備。 ④ バイオマス関連部会・研究会合同交流会への協賛 ⑤ 三部会(RGB)シンポジウム(ガス化部会・リサイクル部会と合同) ⑥ アジア・バイオマス協議会への協力 ホームページの拡充、ホームページへの広告募集、出版、編集への協力、受託調査等への協力 ⑦ 2022年度100周年記念事業に向けた準備を行う。

部会	活動方針	行事計画等
新エネルギー・水素部会	① 学会内において新エネルギー・水素関連技術開発(再生可能エネルギー、未利用エネルギー、水素エネルギー等の利用に関する技術開発)に関連する研究の促進や活性化を図る。 ② セミナー開催やメーリングリスト等を通して、上記の研究分野の最新研究動向を発信し、研究者間の情報交換や交流を行う。 ③ 上記の研究を行っている関係者で日本エネルギー学会に加入していない方々の学会への入会を促す。 ④ 年次大会での会員の研究発表を積極的に行うと共に、学会への加入を促しつつ非会員へも発表を勧誘する。	① 新エネルギーや水素関連技術のセミナー・見学会の開催 ② 水素エネルギーに関する本の出版に向けた協議 ③ 総説特集の企画 ④ 年次大会(8月)への積極的な研究発表ならびに参加者勧誘 ⑤ 新エネルギー・水素エネルギー技術の開発や促進を行っている他団体との交流、特に世界水素エネルギー会議を積極的な交流の場として活用する ⑥ 2022年度100周年記念事業に向けた準備を行う ⑦ 部会ホームページの更新・拡充 ⑧ メーリングリストによる情報発信
ガス化部会	① シンポジウムを年1回開催し、リサイクル部会、バイオマス部会との合同とする。 ② 見学会、勉強会等を適時開催し、他部会および他学協会との連携も視野に入れる。	① 幹事会 ② 三部会(RGB)シンポジウム(リサイクル部会、バイオマス部会と合同)(5月) ③ 2022年度100周年記念事業に向けた準備を行う
燃焼部会	① 気候変動問題に対応する実践的な燃焼技術の調査を行ない、燃焼技術者を育成する。 ② 燃焼技術や環境技術に関連する講演会、エネルギー学会大会への発表を通して、社会への啓蒙や貢献を行う。 ③ 「日本エネルギー学会100周年記念事業」の準備	① 燃焼の基礎に関する講習会の開催(7月頃、オンデマンド講習会) ② 大会でのセッションの企画 ③ アンモニア燃焼に関する講演会を開催 ④ 100周年記念事業へのウェビナー提案
液体微粒化部会	① 会員へのフィードバックおよび部会委員参画のメリットに重点をおいた方向で部会活動を進める。 ② 会誌「えねるみくす」へ向けた微粒化関連記事の協力を行う。	① 第16回微粒化セミナー(開催時期未定、日本液体微粒化学会と共同主催) ② 第30回微粒化シンポジウム(12月開催予定・九州地区) ③ 部会委員会(年3回程度) 100周年記念事業に合わせて、部会活動の振り合えりや、今後の進展に関する記事等をえねるみくす等に掲載することを検討する。
リサイクル部会	① 部会企画行事により情報収集、情報交流の場を設ける。 ② 部会活動の成果をまとめ、社会に提言する。 ③ 循環型社会構築に資する活動を行う。 ④ 他の部会や学会との連携による活動を行う。	① 部会・幹事会の開催(年3回程度) ② 三部会(RGB)シンポジウム(ガス化部会・バイオマス部会と合同)(5月) ③ 部会主催講演会や見学会(廃棄物資源循環学会やプラスチックリサイクル化学研究会と共同開催予定) ④ 100周年記念事業準備(記念出版、シンポジウム開催など)

部会	活動方針	行事計画等
省エネルギー・消費者行動部会	① 省エネルギーセンター等との連携を強化し、活動方針に沿った活動を行う。 ② 環境と調和した新しいエネルギー需給構造、社会システムの構築に向けて検討を進める。 ③ 省エネルギー技術者、研究者の連携推進、省エネルギー技術シーズの「実用化」、「導入・普及」の促進への貢献を目指す。	① EECB公開セミナー（省エネ、消費者行動関連）や見学会の開催 ② 「エネルギー学」部会及び他部会との連携講演会や見学会の開催 ③ 年次大会における省エネルギー・消費者行動部会セッションの開催 ④ 100周年記念事業に向けた企画の検討 ⑤ 幹事会（年3回程度）
「エネルギー学」部会	① シンポジウム（セミナー）の開催：他学会、他部会との共催も含めて、シンポジウム（セミナー）を開催していく。 ② エネルギー政策に関する意見交換を行う。 ③ エネルギー知識の啓蒙：エネルギー知識啓蒙のための単行本の出版を検討する。	① シンポジウム（セミナー）の開催。 ・「エネルギー移行期における石炭が担う役割と利用技術の可能性」セミナーの開催 ・その他シンポジウム（セミナー）・見学会の開催を検討中。 ② 他部会、他学会とのセミナー・セッションの共催。 ③ 年次大会における「エネルギー学」セッションの開催 ④ 第6エネルギー基本計画：2050への提言”に関して、外部機関を含めて意見交換会を行う。100周年記念事業への提案を検討する。 ⑤ エネルギー・資源学会と共同でエネルギー検定の問題の改定を行う。エネルギー知識普及のための単行本の出版の検討 ⑥ 幹事会（年3回程度）
若手研究者の勉強会	① 産・学・官における若手研究者が意見交換できる場を提供し、懇親を深め、今後の研究・開発を合目的かつスムーズに進めていくための研究者間の人と知識の有機的なネットワークを構築していく。 ② 2050年のエネルギー社会像をキーワードとして、各部会の若手（40歳未満）の交流と意見交換を活発化するためワークショップを開催する。	① 勉強会の開催（8月年次大会期間中） ② 幹事会（年1～2回程度） ③ 2050年のエネルギー社会を考えるワークショップの開催 ④ 100周年記念事業に向けた企画の検討

（3）支部活動方針および行事計画等

支部	活動方針	行事計画等
北海道支部	① 北海道内の関連機関の実態を踏まえ、地域性を生かした「エネルギー・資源・環境」に関わる主催行事を開催する。 ② 北海道内の他の学協会等との有機的連携ならびに各種事業の共催・協賛を積極的に推し進め、支部会員への情報発信の強化を図る。	① 第21回北海道エネルギー資源環境研究発表会（5月：北海道大学工学部材料・化学系棟中会議室またはリモート会議） ② 施設見学会（主催） ③ 日本化学会北海道支部2021年夏季研究発表会（共催） ④ 北海道エネルギー懇話会講演会（共催）

		<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 第10回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウム(協賛) ⑥ 幹事会・総会(1月:メール開催) ⑦ 庶務幹事会(奇数月) ⑧ 100周年記念事業の計画・準備(庶務幹事会等に合わせて)
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> ① エネルギーに関わる講演会や研究会を企画開催する。 ② 東北・新潟地区における産学官の連携を促進する。 ③ 他の学協会との連携や共催を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 講演会および見学会の開催(10月下旬～11月中旬(予定):秋田市) ② 100周年記念講演会(検討中) ③ 他関連学協会との共催行事 <ul style="list-style-type: none"> ・火力原子力発電技術協会東北支部 令和3年度技術講演会および見学会(協賛) ・学都 仙台・宮城サイエンスデイ(仙台市, 名義後援) ・化学工学会東北支部 第26回東北ジョイント夏季セミナー(青森県, 協賛) ・火力原子力発電技術協会東北支部 令和3年度技術講習会および見学会(協賛) ・第26回基礎化学工学講習会(協賛) ・再エネテクノブリッジ(後援) ④ 役員会(5月, 11月(予定))
関西支部	<ul style="list-style-type: none"> ① 石炭、重質油のみならずバイオマス等の新エネルギーも含めたセミナー等を通して横断的にエネルギーに関する情報と討論の場を提供する。 ② エネルギー源のみならず省エネルギーなどのエネルギーの有効な使用方法に関する情報の場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 見学会(7月) ② 「エネルギーの未来を担う若手のためのコロキウム2021」(石油学会関西支部共催)(8月) ③ 第37回セミナー(10月)(石油学会関西支部共催) ④ 第66回研究発表会(石油学会関西支部共催)(12月) ⑤ 幹事会(1月, 4月, 7月, 10月) ⑥ 100周年記念事業の企画ならびに準備
西部支部	<ul style="list-style-type: none"> ① 石炭, 水素, バイオマスをキーワードとしたシンポジウム、セミナーを継続 ② 九州経済産業局殿と連携し、西部支部の地域性を生かしたセミナーの企画 ③ 地域の学生・若手の育成および研究活動の活性化のため、学生・若手研究発表会を実施 ④ 九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター殿等と連携し、海外へのCCT技術移転などを見据えた勉強会、セミナーを通じて知識の深化を図る。 ⑤ 地域のエネルギーをキーワードとした新たな取組み方針を検討 ⑥ 他学会(石油学会, 機械工学会, 化学工学会等)の関連支部との連携により学会活動を活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ① 低炭素システム研究会(共催, 10月) ② 講演会および見学会の開催(6月) ③ 支部企画研究発表会の開催(11月) ④ 他学会関連支部行事の協賛 ⑤ 役員会(6月, 8月, 11月) ⑥ 100周年記念事業に向けた準備

収支予算書

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(A)

(B)

(A-B) (単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[31,820,000]	[33,458,000]	[△ 1,638,000]
維持会員受取会費	21,800,000	23,000,000	△ 1,200,000
賛助会員受取会費	1,820,000	1,880,000	△ 60,000
正会員受取会費	8,200,000	8,578,000	△ 378,000
参加会費	[0]	[48,000]	[△ 48,000]
新春祝賀会参加会費	0	48,000	△ 48,000
事業収益	[21,190,000]	[21,354,000]	[△ 164,000]
講演講習会収益	14,000,000	13,000,000	1,000,000
分析収益	200,000	200,000	0
安息香酸収益	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
調査研究収益	1,100,000	1,100,000	0
会誌別刷売上	300,000	350,000	△ 50,000
広告収益	180,000	194,000	△ 14,000
書籍収益	410,000	410,000	0
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,100,000	1,700,000	△ 600,000
総会賛助金	[0]	[650,000]	[△ 650,000]
総会賛助金	0	650,000	△ 650,000
雑収益	[125,000]	[211,800]	[△ 86,800]
受取利息	2,000	1,800	200
雑収益	123,000	210,000	△ 87,000
経常収益計	53,135,000	55,721,800	△ 2,586,800
(2) 経常費用			
事業費	[25,022,000]	[26,671,000]	[△ 1,649,000]
講演講習会運営費	7,200,000	6,464,000	736,000
旅費交通費	1,250,000	2,367,000	△ 1,117,000
通信運搬費	695,000	825,000	△ 130,000
消耗品費	7,000	7,000	0
印刷製本費	8,430,000	8,977,000	△ 547,000
支部費	1,400,000	1,400,000	0
会議費	100,000	296,000	△ 196,000
諸謝金	1,900,000	1,804,000	96,000
分析費	150,000	150,000	0
安息香酸費	2,000,000	2,400,000	△ 400,000
雑費	1,800,000	1,820,000	△ 20,000
出入金手数料	90,000	161,000	△ 71,000
管理費	[27,937,000]	[28,569,000]	[△ 632,000]
給料手当	13,000,000	13,100,000	△ 100,000
社会保険料	1,600,000	1,550,000	50,000
退職給付費用	450,000	420,000	30,000
労働保険料	250,000	310,000	△ 60,000
福利厚生費	50,000	68,000	△ 18,000
会議費	730,000	2,000,000	△ 1,270,000
旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0
通信運搬費	1,500,000	1,200,000	300,000
消耗品費	200,000	160,000	40,000
印刷製本費	750,000	720,000	30,000
光熱水料費	350,000	320,000	30,000

科 目	(A)	(B)	(A-B)
	予算額	前年度予算額	増 減
借室費	4,600,000	4,604,000	△ 4,000
保険料	7,000	7,000	0
諸謝金	50,000	90,000	△ 40,000
租税公課	700,000	770,000	△ 70,000
雑費	2,500,000	2,050,000	450,000
出入金手数料	[150,000]	[120,000]	[30,000]
経常費用計	53,109,000	55,360,000	△ 2,251,000
評価損益等調整前当期経常増減額	26,000	361,800	△ 335,800
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	26,000	361,800	△ 335,800
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	26,000	361,800	△ 335,800
一般正味財産期首残高	60,592,453	58,427,126	2,165,327
一般正味財産期末残高	60,618,453	58,788,926	1,829,527
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	60,618,453	58,788,926	1,829,527

